

# 39 徳島県徳島市

とくしま

設定区域

かわうちちょう  
川内町

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

徳島市は徳島県の東部に位置し、吉野川とその支流がつくり育てた三角州に発達した市であり、豊かな自然や温暖な気候を活かし、多くの野菜が栽培されています。

当該地域では、れんこん農家やJA、徳島市などが参画する「れんこん持続農業協議会」を令和3年に発足し、環境に優しい農業に取り組んでいます。



れんこん畑



徳島市

## 2 地域の課題

病害等で反収が減少するなか、農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加、販売価格の低迷、鳥獣被害の増加等が課題となっており、内外情勢の変化や多様なニーズに対応できる新たな取組が必要となっています。

## 3 特定区域が目指す姿

れんこん栽培におけるIPM（環境に優しい病害虫防除）や先端技術を活用した環境負荷低減の実証に取り組み、新たな技術が地域に相当程度導入されることを目指します。

## 4 推進する生産者の取組

- ① 堆肥や微生物資材を活用した土づくりによる化学肥料使用量の低減を推進します。
- ② ドローンを用いた農薬の局所施用など先端技術を活用し、化学農薬使用量の低減を推進します。
- ③ 実証ほ場で効果の検証を行い、生産部会全体での普及推進を図ります。



土づくりに使用している堆肥

## 5 生産者の取組紹介

### れんこん持続農業協議会

- ・ 取組の概要：堆肥の有効利用等の継続と再検証を続け「環境に優しい農業技術」をバージョンアップしています。
- ・ 今後の目標：品質の向上、反収の増加により地域の「農業環境を守る生産者グループ」として、活動を強化していきます。



れんこんの収穫

## 6 問い合わせ先

徳島県みどり戦略推進課  
徳島市農林水産課

TEL : 088-621-2423  
TEL : 088-621-5252

# 40 徳島県小松島市 こまつしま

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

設定区域 全域

## 1 地域の特徴

小松島市は勝浦川、那賀川の両流域に広がる肥沃な土壌と恵まれた気象条件のもと、水稻を主体に多様な農業生産を展開しています。平成22年に有機農家などで構成される「小松島市生物多様性農業推進協議会」を発足させ、特別栽培や有機農業等を推進することにより、持続可能な循環型農業の推進や安全・安心な農産物の供給などに取り組んでいます。



生き物調査の様子



小松島市

## 2 地域の課題

農業者の高齢化、担い手不足、自然災害の増加、生産資材の高騰及び農産物価格の低迷が課題となっています。

## 3 特定区域が目指す姿

需要の高まっている有機農産物について、技術普及やブランディングなど、生産から流通、加工、消費までの一貫した地域ぐるみの取組を進め、地域内における有機農業の面的拡大を推進していきます。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 土壌中の有用な微生物の活性を高める有機農業技術を導入します。
- ② 成果を挙げている有機農業者や関係機関と連携・協力し、技術を普及・拡大するための研修会を実施します。
- ③ 水稻の有機農業の団地化を促進するとともに消費者へのPR活動を行い、市内の有機農産物の利用等を推進します。



研修会の様子

## 5 生産者の取組紹介

### JA東とくしま特別栽培米生産者部会

- ・令和5年12月に有機農業の取組拡大に向けた特定環境負荷低減事業活動実施計画を策定・認定。
- ・学校給食において栽培期間中化学肥料及び化学合成農薬不使用の米を導入することにより、環境負荷低減の稲作技術を消費者と生産者で共通認識とするための活動を実践しています。



米の栽培風景

## 6 問い合わせ先

徳島県みどり戦略推進課  
小松島市農林水産課

TEL : 088-621-2423  
TEL : 0885-34-9292

# 41 徳島県阿南市

あなん  
なかがわちよう、はのうらちよう  
設定区域 那賀川町、羽ノ浦町

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

阿南市東部の那賀川の中・下流域に位置し、東は紀伊水道、南は太平洋に臨み、北は小松島市、勝浦町に接し、西は四国山系の東端に連なる山地と沖積平野からなっています。

水稻を主要作物とした土地利用型農業や施設園芸農業が定着しており、地域と担い手が一体となった生産体制の構築に向け取り組んでいます。



特別栽培米「あいさい一楽米」の販売



阿南市

## 2 地域の課題

農業者の高齢化が進み、後継者不足や遊休農地の増加が課題となっています。また、農作業の効率化を図るため、担い手への農地の集約化やほ場拡大等を検討していく必要があります。

## 3 特定区域が目指す姿

農業者主導での環境負荷低減技術に関する研究会等を実施し、個人農家や農業法人が独自の販売先を確保した上で、地域の関係機関が一体となり、有機米の栽培を促進し、団地化の促進を進めます。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 土づくり実証ほ場の設定、有機栽培マニュアルの作成、実需者との意見交換を実施します。
- ② JAや県農業支援センター等の地域の関係機関と連携し、水稻を中心とした有機農業の拡大及び団地化を促進します。



講習会の実施

## 5 生産者の取組紹介

JA東とくしま特別栽培米生産者部会

- ・令和5年12月に有機農業の取組拡大に向けた特定環境負荷低減事業活動実施計画を策定・認定。
- ・土壌診断や栽培暦による研修会の実施や各種イベント参加による消費者理解や販売の促進などに取り組んでおり、今後さらに水稻を中心とした有機農業の拡大・団地化を目指します。



田植体験会の実施

## 6 問い合わせ先

徳島県みどり戦略推進課  
阿南市農林水産課

TEL : 088-621-2423  
TEL : 0884-22-1598

## 42 徳島県阿波市

いちばちょう、あわちょう  
設定区域 市場町、阿波町

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

### 1 地域の特徴

阿波市では平野部から山間部、吉野川の川中島である善入寺島に至るまで、自然豊かで広大な田園と整備された農業施設のもと多種多様な農業生産を行っています。

阿波市では盛んな畜産を背景にたい肥を活用し、水稻や野菜類の有機栽培の普及拡大に取り組んでいます。



善入寺島



阿波市

### 2 地域の課題

農業者の高齢化が進み、担い手不足が課題となっています。また、市場価格の低迷や業務用需要の減少、農業資材・燃油価格の高騰により、農業経営の維持・安定化が課題となっています。

### 3 特定区域が目指す姿

「特産品認証制度」の普及・浸透及び販売PRを行うことで生産販売体制を強化し、有機農業に取り組んでいる農業者の規模拡大や若手農家の有機農業への切り替え等により、有機農業の面的拡大を進めます。

### 4 生産者の取組の支援

- ① 「阿波市のいいものブランド」の創出や「阿波ベジファーストプロジェクト」により、野菜・果物の栄養価や機能性に関する広報等を展開します。
- ② これらのブランディングも含め、野菜、水稻の有機農業の団地化を推進します。



阿波市特産品認証制度認証品パンフレット

### 5 生産者の取組紹介

#### あぐりアワー緑の会

名前のとおり、みどりの食料システム戦略で掲げる、2050年までに有機農業の面積を25%に増加させるという目標に寄与するため、環境に優しい持続可能な農業の担い手となる人材の育成や栽培技術の開発、食育及び地産地消の推進活動、学校給食に阿波市の有機農産物を使用することなどを目指しています。



あぐりアワー緑の会

### 6 問い合わせ先

徳島県みどり戦略推進課  
阿波市農業振興課

TEL : 088-621-2423  
TEL : 0883-36-8720

43 徳島県 <sup>かいようちよう</sup>海陽町  
 設定区域 <sup>のえ</sup>野江地区、<sup>たかぞの</sup>高園地区

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

海陽町は徳島県の最南端に位置し、南東の海岸線は太平洋を望み、高知県と隣接しており、温暖な気候豊富な山海の恵みのもと農業に取り組んでいます。

海陽町では、関係機関と連携し、町内での就農を前提とした研修「きゅうり塾」を実施し、移住を伴った担い手育成により、産地の再生に取り組んでいます。



きゅうりの栽培風景



海陽町

2 地域の課題

農業従事者の高齢化が進んでおり、遊休農地や耕作放棄地が点在しているため、新たな農地の受け手の確保が必要となっています。

3 特定区域が目指す姿

移住就農者獲得を目指した「きゅうり塾」の取組を含む「きゅうりタウン構想」のもとで、担い手の定住と先端技術の普及による化学農薬の使用量低減を目指します。

4 推進する生産者の取組

- ① 複合耐病性品種の導入及び天敵の活用により、農薬の散布作業の省力化と使用量の低減に取り組みます。
- ② 日照量、温度、炭酸ガス等を管理する施設内環境測定機器の導入による温室効果ガスの排出削減など、次世代的な栽培方法の確立を図ります。



養液栽培ハウス内風景

5 生産者の取組紹介

環境制御技術の導入により、温湿度管理や肥培管理を適切に行うことが可能となりました。また、養液土耕栽培を導入することにより、灌水・施肥にかかる作業時間が大幅に削減されました。更には、天敵利用技術を導入することで、農薬散布回数の削減にも成功しました。

今後もこれらの技術を活用して、農薬散布回数を減らしつつ収量増を望むことができるような技術を身に付け、産地の維持・発展に寄与します。



栽培に取り組むきゅうり農家

6 問い合わせ先

徳島県みどり戦略推進課  
 海陽町産業振興課

TEL : 088-621-2423  
 TEL : 0884-73-4161

44 <sup>うまじむら</sup> 高知県馬路村

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

### 1 地域の特徴

馬路村は、高知県の東部に位置し、かつては林業で栄えた村。昭和の中頃にゆず栽培を始め、平成13年から全てのゆず農家が有機に準じた栽培に取り組み、令和3年度の耕地面積に占める有機農業率が81%と全国1位となっています。より一層の有機農業を推進していくために「馬路村有機農業実施計画」を策定し、「オーガニックビレッジ」を宣言しています。



有機農産物ゆず

馬路村

### 2 地域の課題

村内で生産されたゆずの販路拡大に取り組んでいる中で、収穫量の維持・拡大が望まれています。農家の高齢化が進んでおり、農地の維持が課題となっています。

### 3 特定区域が目指す姿

有機循環農法やスマート農業の導入等を推進するとともに、新商品の開発やゆず加工品のPR、学校給食への提供を行い、有機農業の産地育成に取り組んでいきます。

### 4 生産者の取組の支援

- ① 土づくりやゆずの加工残渣を利用した肥料の施肥（有機循環農法）、スマート農業を導入した生産活動を推進します。
- ② 関係機関と連携し、収穫時期の労働力確保を行います。
- ③ 輸出販売事業確立のためのゆず加工品のPRの拡充や新商品の開発、学校給食への提供による食農教育の推進を行います。



ゆず加工品

### 5 生産者の取組紹介

【目標】

- ① 有機農業取組面積拡大 (R4: 39ha → R10: 40ha)  
(うち有機JAS認証取組面積 R4: 6.94ha → R10: 7ha)
- ② 有機農業取組経営体数の増加 (ゆず)  
(R4: 93経営体 → R10: 103経営体)  
(うち有機JAS認証数 R4: 12経営体  
→ R10: 13経営体)



ゆず生産者

### 6 問い合わせ先

高知県農業政策課  
馬路村役場地域振興課

TEL: 088-821-4510  
TEL: 0887-44-2114

45 <sup>もとやまちょう</sup> 高知県本山町

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

本山町は高知県の中央北部に位置する自然豊かな町であり、環境に配慮した農業の推進及び耕畜連携を図る振興計画を策定し、環境保全を考慮した農業を展開しています。木質バイオマス発電所の廃熱や排ガスを次世代型園芸施設で利用する農業クラスター事業を展開しています。また、ペレット堆肥の利用促進に取り組んでいます。



パプリカを生産する次世代型園芸ハウス



本山町

2 地域の課題

農家戸数の減少や農業者の高齢化が進行する中で、地域農業を支える担い手の確保と、農業者が生産した農産物の流通・消費に取り組む支え手の確保が課題です。

3 特定区域が目指す姿

県内で初めてトリジェネレーションを実現した次世代型園芸施設の活用や、運搬・散布しやすくペレット化した牛ふんの堆肥の利用を促進し、地域ぐるみの環境負荷低減活動の普及拡大を目指します。

4 推進する生産者の取組

- ① 木質バイオマス発電所で発生する廃熱や排ガス(CO2)を次世代型園芸施設で活用し、温室効果ガスの排出を削減する取組を推進します。
- ② 水稻等の品目で土壌診断と合わせて、土佐あかうしの牛ふんペレット堆肥の利用を促進し、環境負荷低減の取組を推進します。
- ③ 堆肥センターや畜産関係者、農家等の生産者のつながりを強化するため会議を開催します。



木質バイオマス発電所と次世代型園芸施設

5 生産者の取組紹介

本山町全域を特定区域に設定し、バイオマス発電施設の廃熱等の施設園芸での利用や、土佐あかうしの牛糞ペレット堆肥を活用した化学肥料低減を通じて、環境に配慮した農林業を意識する取り組みを継続します。



牛糞ペレット堆肥の活用を検討する会議

6 問い合わせ先

高知県農業政策課

TEL: 088-821-4510

本山町役場まちづくり推進課

TEL: 0887-76-3916

# 46 長崎県雲仙市

うんぜん

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

設定区域 全域

## 1 地域の特徴

雲仙市は、長崎県の島原半島西部に位置する市であり、良好な環境の保全と創造に向けた環境行政を推進するため、令和3年に「雲仙市環境基本計画」を策定し、環境保全型農業を推進しています。

現在、14の経営体が有機農業に取り組んでおり、直売所と連携し有機農業のPRや有機農産物のフードロス対策に取り組んでいます。



雲仙のおしどりの池湖畔



雲仙市

## 2 地域の課題

有機農業の面積拡大が課題であり、有機JAS認証の取得補助のほか、販路拡大に向けた取組、伝統野菜など有機農業ほ場の団地化など、有機農業に転換しやすい環境の整備が必要です。

## 3 特定区域が目指す姿

慣行農家等が抱える有機農業へのイメージ向上を図り、新規就農者が有機農業に取り組みやすい環境や、慣行農家や減農薬栽培に取り組む農家が有機農業に転換しやすい環境整備を進めます。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 「雲仙市有機農業推進協議会」の活動を中心として、有機農業の生産から販売までを支援します。
- ② 幅広い世代に有機農産物への関心を持たせるため、イベントの開催等により有機農業に取り組む農業者の活動をPRします。
- ③ 学校給食に有機農産物を活用し、子どもを通じて家庭内の有機農業への関心を高めます。



【PRイベント「自然にやさしい農業に親しむ会」の様子】

## 5 生産者の取組紹介

本市の有機農業のリーダー的存在である岩崎政利氏は、在来種野菜の自家採種を繰り返し、環境対応させることで伝統野菜の継承を続けています。

環境対応の過程で有機農法を採用しており、有機農業・有機農産物のPRイベントにも積極的に参加するなど、生物多様性を保持した農業を広める活動に取り組んでいます。



## 6 問い合わせ先

長崎県農業イノベーション推進室 TEL: 095-895-2933  
雲仙市役所農林課 TEL: 0957-47-7828

# 47 長崎県南島原市

みなみしまばら

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

南島原市は、肥沃な大地と豊かな自然、温暖な気候に恵まれており、農業を基幹産業として発展してきた地域であり、市民の環境意識を高めるために「南島原市脱炭素全体計画」を策定しています。

有機農業の生産から消費まで一貫通貫した体制づくりに向け、令和5年3月に県内で初めてオーガニックビレッジ宣言をしました。



有家町の鮎帰の滝



南島原市

## 2 地域の課題

有機農業の面積拡大が課題であり、圃場整備の推進や後継者の確保に向けて、有機JAS認証の取得補助、新規就農者の受け入れ農家に向けた体制整備など有機農業に取り組みやすい環境づくりが必要です。

## 3 特定区域が目指す姿

有機JAS認証取得補助や新規就農者の受け入れ体制整備、家畜ふん堆肥等の地域資源の活用検討などを行い、生産から消費まで一貫して取り組む体制を構築し、有機農業に取り組みやすい環境づくりを進めます。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 「南島原オーガニック協議会」を中心に、主に玉ねぎの有機農業に関する技術体系の確立や圃場整備等を推進します。
- ② 有機JAS認証の取得補助や新規就農者の受け入れ農家に向けた体制整備など、有機農業に取り組みやすい環境づくりを進めます。
- ③ 消費者に向けたPR活動や学校給食への提供を行い、有機農業への関心を高める取組を行います。



市内初のオーガニック給食

## 5 生産者の取組紹介

ながさき南部生産組合、長崎有機農業研究会、供給センター長崎と3つの団体が市内の各地域で有機農業に取り組んでいます。

オーガニックビレッジ宣言をきっかけに、有機米の試験栽培や学校給食への食材提供など有機農業に関心を持ってもらえるような活動を行っています。



## 6 問い合わせ先

長崎県農業イノベーション推進室 TEL: 095-895-2933  
南島原市役所農林水産部農林課 TEL: 0957-73-6661

# 48 宮崎県えびの市

いいの  
設定区域 飯野地区東部

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

えびの市は宮崎県、鹿児島県、熊本県の三県の境界にあり、消費地にアクセスしやすい立地を活かし、水稲、イモ類、露地野菜などの栽培を行っています。また、本市は南部に霧島錦江湾国立公園があり、豊かな自然環境に恵まれ、希少動植物も多数生息しているため、農業者の環境への意識も高く、エコロジカルタウンえびの推進協議会を立ち上げ、有機農業や地域資源の活用した農業に取り組んでいます。



国立公園指定  
「霧島」90周年  
シンボルマーク



えびの市

## 2 地域の課題

有機農業と慣行農業の共存の課題（化学肥料・農薬の有機農業ほ場への流入・飛散防止や、慣行農業ほ場への病害虫の飛来防止等の対策）を解決する必要があります。

## 3 特定区域が目指す姿

有機農業と慣行農業の共存を図るために、基盤整備を行い有機農業と慣行農業のゾーニングを計画し、有機農業の生産から消費まで一貫した産地づくりを目指します。

## 4 生産者の取組の支援

- ① ゾーニングによる化学肥料・農薬の有機農業ほ場への流入や飛散の防止、病害虫の慣行農業ほ場への飛散防止など、有機農業者と慣行農業者の共存を図るとともに有機農業取組面積の増加と団地化を進めます。
- ② 有機農産物を学校給食に提供するとともに、「道の駅えびの」を活用した展示・販売や通販・ECサイトを利用し、えびの市産有機農産物のブランド化を目指します。
- ③ 有機農業者等で構成された組織「オーガニックファーマーズえびの」による研修会や技術講習会を実施します。【有機農産物マルシェの開催（道の駅えびの）】



## 5 生産者の取組紹介

株式会社本坊農園

（取組の概要）エコロジカルタウンえびの推進協議会の会長を務め、地域の堆肥を使った有機農業に長年取り組んでおり、農園の雇用者が有機農業の技術を習得した後、独立就農するなど地域の有機農業の推進に貢献しています。  
（今後の目標）市内の有機農産物の統一的な栽培方法を確立し、面積・生産量を増やすことで産地化を図ります。  
（特定区域の設定で変わったこと）地域の住民や慣行農業者の理解を得ることができ、共存を図ることに繋がっています。また、特定地域においてモデル的に有機農業の振興を図ることで、市内全域に取組が広がることを期待します。



エコロジカルタウン  
えびの推進協議会

## 6 問い合わせ先

宮崎県農業普及技術課 TEL: 0985-26-7134  
えびの市畜産農政課 TEL: 0984-35-1650

# 49 宮崎県宮崎市

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

宮崎市は、九州南東部に位置し、冬季に温暖で日照時間の長い気候条件を生かして、野菜や果樹、花きの施設園芸を基幹とし、早期水稲と畜産を組み合わせた複合経営を行っています。

令和6年5月に化学農薬・化学肥料低減、有機農業の面積拡大に向けた取組推進のために、「宮崎市みどり農業推進協議会」を設立し、官民一体となって取り組んでいます。



宮崎市制100周年記念  
キャラクター「みやねこ」



宮崎市

## 2 地域の課題

有機農業の普及には、慣行栽培を行う生産者との連携が不可欠です。

また、有機農産物に対する消費者の理解醸成を図ることが課題となっています。

## 3 特定区域が目指す姿

「宮崎市みどり農業推進協議会」を中心として、宮崎市における有機農業や有機農産物に対する消費者の理解醸成を図り、消費や販路の拡大と有機農業の取組面積の拡大を目指します。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 特定区域において有機農業に取り組む農業者や、新たに有機農業への転換を検討している農業者に対し、有機農業の栽培技術研修を実施することで、有機農業の基盤を強化します。
- ② レストラン等での販売促進イベントや新商品の開発、学校給食への提供を通して、消費者の認知度向上や新たな販路開拓を行います。



学校給食における有機農産物の  
利用推進のための研修

## 5 生産者の取組紹介

### 宮崎市有機農業推進協議会

○活動：自然生態系の機能を生かした栽培技術の普及と健全な生態系や生育環境に配慮した環境保全型農業を推進し、有機農業者と消費者間の連携を深めるとともに、環境保全と地域社会に寄与する活動を行っています。

○目標：全会員の環境負荷低減事業活動実施計画の認定（みどり認定）取得



## 6 問い合わせ先

宮崎県農業普及技術課  
宮崎市農政企画課

TEL: 0985-26-7134  
TEL: 0985-21-1785

50 <sup>あやちよう</sup> 宮崎県綾町

設定区域 全域

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

綾町では、自然生態系農業の推進に関する条例の制定や2012年ユネスコエコパークへの登録など、自然と人が共生する持続可能なまちづくりや食の安全と健康の増進に取り組んできました。また、綾町が有機JAS登録認定機関となることで、申請にかかる生産者の負担等を軽減するなど、有機農産物（主に露地野菜）の生産拡大に努めています。



綾の照葉大吊橋



綾町

2 地域の課題

農業従事者の高齢化による担い手不足及び耕作放棄地の拡大が深刻化している。また、有機農産物に対する消費者の理解醸成を図ることが課題となっている。

3 特定区域が目指す姿

有機農業の生産技術の確立・普及、新規就農者の育成・確保・定着、消費者への啓発や理解醸成、販売ルートの確立など有機農業を軸とした地域活性化を図り、環境に優しい持続可能な有機農業のまちを目指します。

4 生産者の取組の支援

- ① 「綾町自然生態系農業推進会議」を核として取組を推進します。
- ② 「綾オーガニックスクール」で技術的指導を行い、遊休農地の整備と合わせて、有機農業を実施するほ場の確保・団地化を行います。
- ③ 学校給食への提供を通じた普及活動や、「綾手づくりほんものセンター」での取扱量の拡大を図り、供給体制の強化を行います。



オーガニックスクールでの研修

5 生産者の取組紹介

合同会社綾オーガニックワークス

- ・オーガニックスクールで実践的な技術指導を行い、10年後にスクールの卒業生20人を目指しています。
- ・特定区域を設定することで、綾町が環境に優しい有機農業を実践している事を全国の消費者にアピールし、有機農産物を購入してもらうことで、地域活性化につながることに期待しています。



6 問い合わせ先

宮崎県農業普及技術課  
綾町農林振興課

TEL: 0985-26-7134  
TEL: 0985-77-0100

# 51 鹿児島県南種子町

みなみたねちょう

はせ しまま にしの かみなか かつち しもなか

設定区域 長谷, 島間, 西之, 上中, 河内, 下中地区

有機

温室効果  
ガス削減

先端技術

## 1 地域の特徴

南種子町は、鹿児島市から南へ153kmの種子島の南部に位置し、起伏の多い丘陵地帯で、中央部は黒ボク土の畑地帯と南東部は水田地帯が広がっています。

南種子町では9戸の農家が種子島の地域特産物である安納いもや早期水稲、さとうきびなどの有機栽培に取り組み、学校給食や町内の物産館、島外への出荷を行っています。



種子島宇宙センター



南種子町

## 2 地域の課題

農業従事者の高齢化による担い手不足及び遊休農地の拡大が深刻化しています。また、農地区画が狭小であるため、営農の大規模化の障壁となっています。

## 3 特定区域が目指す姿

消費者の有機農産物購入機会を増やすため、学校給食での活用促進や物産館を活用した地産地消の推進及び島外消費地への出荷を行い、南種子町産有機農産物のブランド化を推進していきます。

## 4 生産者の取組の支援

- ① 有機農業を志す生産者組織を設立し、(有)かごしま有機生産組合が持つノウハウを共有し、有機農業の実践者を確保・育成、栽培技術を平準化します。
- ② 遊休農地を解消し、有機農業ほ場を確保するなど、生産振興を重点的に行い、産地を維持・活性化します。
- ③ 学校給食での提供や町内物産館、島外消費地への出荷により、ブランド化を推進します。



有機農業研修会の様子

## 5 生産者の取組紹介

早期水稲農家の実証栽培では、水管理システム、アイガモロボや水田除草機を使用した雑草管理を行うことにより、営農作業効率の向上につなげ、化学農薬不使用による環境負荷低減活動に取り組んでいます。

収穫されたお米を、町内小中学校の給食に周年で米飯提供することで、有機農業の普及（食育や環境教育）にもつながる取組となっています。



早期水稲農家（実演会）

## 6 問い合わせ先

鹿児島県農政部経営技術課  
南種子町役場総合農政課

TEL: 099-286-2891  
TEL: 0997-26-1111

- 優先項目**
- (特定) 環境負荷低減事業活動実施計画
  - 特定区域での取組

### みどりの食料システム戦略推進交付金

- グリーンな栽培体系加速化事業 ● ●
- 有機農業拠点創出・拡大加速化事業 ● ●  
(有機農業の栽培管理協定の締結により更に加算)
- 有機転換推進事業 ( (特定) 環境負荷低減事業活動実施計画の認定が必要)
- SDGs対応型施設園芸確立・地域循環型エネルギーシステム構築 ● ●
- バイオマスの地産地消・みどりの事業活動を支える体制整備 ● ●  
(みどりハード対策：基盤確立事業実施計画の認定が必要)

### 農畜産業関係

- 強い農業づくり総合支援交付金 ● ●
- 国産野菜サプライチェーン連携強化緊急対策事業 ● ●
- 国産小麦・大豆供給力強化総合対策のうち麦・大豆生産技術向上事業 ● ●
- 稲作農業の体質強化総合対策事業のうち米の超低コスト生産支援 ● ●
- 国内肥料資源利用拡大対策事業 ● ●
- 農地利用効率化等支援交付金 ●
- 担い手確保・経営強化支援事業 ●
- 新規就農者育成総合対策のうち経営発展支援事業 ●
- 新規就農者確保緊急円滑化対策のうち世代交代・初期投資促進事業 ●
- 経営継承・発展等支援事業 ●
- 集落営農活性化プロジェクト促進事業 ●
- 農山漁村振興交付金 ● ●
- 持続的生産強化対策事業のうち  
茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進、果樹農業生産力増強総合対策 等 ● ●
- 畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業 ●
- 畜産生産力・生産体制強化対策事業 ●
- 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業のうち施設整備事業及び機械導入事業 ●

### 研究開発・実証関係

- 「知」の集積と活用によるイノベーションの創出 ● ●
- 革新的新品種開発加速化対策のうち政策ニーズに対応した革新的新品種開発 ●

### 輸出促進関係・食品産業関係

- GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト ●
- 大規模輸出産地モデル形成等支援事業 ●
- 食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備緊急対策事業 ●
- コメ・コメ加工品輸出推進緊急対策事業 ● ●

### 林業関係

- 林業・木材産業循環成長対策交付金のうち  
高性能林業機械等の整備 ●、木質バイオマス利用促進施設の整備 ●、  
特用林産振興施設等の整備 ●、コンテナ苗生産基盤施設等の整備 ●

### 他省庁予算

- 学校給食地場産物・有機農産物使用促進事業【文科省】 ●
- 地域脱炭素推進交付金【環境省】 ●

みどりの  
食料システム戦略

食料・農林水産業の生産力向上と  
持続性の両立をイノベーションで実現

**MAFF**  
農林水産省